

Mizuho Daily Market Report

2023/6/27

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	143.19	143.51	▲0.19	+1.53
EUR	1.0904	1.0906	+0.0012	▲0.0015
AUD	0.6679	0.6675	▲0.0005	▲0.0176
SGD	1.3534	1.3535	+0.0016	+0.0125
CNY	7.2344	7.2401	+0.0607	+0.0767
MYR	4.6754	4.6750	▲0.0033	+0.0443
THB	35.22	35.20	▲0.02	+0.40
IDR	15026	15015	+21	+20
PHP	55.71	55.71	▲0.06	▲0.04
INR	82.01	82.04	+0.01	+0.10

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.721%	▲1.4 bp	▲4.0 bp
日本(10年)	0.361%	▲0.8 bp	▲3.9 bp
ユーロ圏(10年)	2.309%	▲4.4 bp	▲20.8 bp
オーストラリア(5年)	3.868%	▲6.8 bp	▲5.1 bp
シンガポール(5年)	3.060%	▲2.2 bp	▲3.0 bp
中国(5年)	2.466%	+0.0 bp	▲2.6 bp
マレーシア(5年)	3.601%	▲0.7 bp	+6.1 bp
タイ(5年)	2.319%	▲2.1 bp	▲0.2 bp
インドネシア(5年)	5.936%	▲0.1 bp	+2.3 bp
フィリピン(5年)	5.942%	+0.7 bp	+16.0 bp
インド(5年)	7.016%	▲1.2 bp	+2.2 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,714.71	▲0.0%	▲1.7%
N225(日本)	32,698.81	▲0.3%	▲2.0%
STOXX50(ユーロ圏)	4,280.57	+0.2%	▲1.9%
ASX(オーストラリア)	4,046.84	▲0.2%	▲2.2%
FTSTI(シンガポール)	3,189.68	▲0.1%	▲1.6%
SSEC(中国)	3,150.62	▲1.5%	▲3.2%
KLSE(マレーシア)	1,389.88	▲0.1%	+0.2%
SETI(タイ)	1,485.32	▲1.3%	▲4.6%
JKSE(インドネシア)	6,664.668	+0.4%	▲0.3%
PSE(フィリピン)	6,523.09	+2.0%	+1.1%
SENSEX(インド)	62,970.00	▲0.0%	▲0.3%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	263.44	+0.2%	▲2.8%
金	1,923.26	+0.1%	▲1.4%
原油(WTI)	69.37	+0.3%	#VALUE!
銅	8,422.00	+0.2%	▲1.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	142.60	—	144.60
EUR/USD	1.0840	—	1.0960
AUD/USD	0.6600	—	0.6740
USD/SGD	1.3500	—	1.3570
USD/CNY	7.2180	—	7.2910
USD/MYR	4.6650	—	4.7400
USD/THB	35.15	—	35.45
USD/IDR	15000	—	15180
USD/PHP	55.40	—	55.95
USD/INR	81.90	—	82.40

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間オープン前、神田財務官による「為替の足許の動きは急速、行き過ぎた動きには適切に対応したい」との牽制発言にドル円は143円台半ばまで値を下げ、143円台半ばでアジア時間オープン。今月開催された金融政策決定会合の「主な意見」において、「YCCについて早い段階で扱いの見直しを検討すべき」との内容が伝わると、143円台前半まで下落。東京時間仲値にかけてはドル買い優勢となるも、為替介入への警戒感もあってかその後は上値の重い推移が継続。結局、143円台半ばにて海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に軟調推移。中国をはじめとした世界経済減速懸念が意識される中、アジア通貨は買われづらい展開となった。

海外市場のドル円はロンドン時間において松野官房長官が円安傾向が続く動きに対し「行き過ぎた動きには適切に対応する」と為替介入の可能性を示唆する発言を受け、円買いが優勢となり、142円台後半まで下落。その後は方向性乏しい推移が続き、143円台前半でNYオープン。オープン直後は上値の重い推移となるも、その後米金利が上昇する展開となると、143円台後半まで上昇。その後は米金利の動き乏しい展開を眺めながら、ドル円も方向性に乏しい推移が続き、143円台半ばでクロスした。

【金利】

この日の金利市場は、小幅低下。主要指標発表が少なく材料難のなか、米国や中国の景気悪化懸念に加え、ウグネルによる武装反乱からロシア情勢への懸念もあり、債券市場は買い優勢となった。またNY時間午後発表となった2年債入札が堅調となったことも金利低下要因となり、じりじりと低下して終了。

【予想】

本日のドル円は底堅い展開を予想。足元の円安進行を受けて当局関係者より円安けん制発言が見られてはいるものの、発言直後こそ円高に進む局面は見られたが現時点では一時的な動きにとどまっている。引き続きヘッドラインに対する警戒感に残るものの、日米の金融政策の乖離が意識されやすい状況下、円売り優勢となる展開を予想する。

【本日の予定】

(日本) 4月 景気動向指数(確)
(日本) 国債入札(20Y)
(日本) 基礎的なインフレ率を捕捉するための指標
(アジア) 5月 フィリピン 財政収支
(欧州) 5月 独 小売売上高
(欧州) 6月 伊 景況感指数
(欧州) 6月 伊 消費者信頼感指数 / 製造業信頼感指数
(欧州) ラルト ECB総裁講演
(米国) 4月 FHFA住宅価格指数
(米国) 5月 新築住宅販売件数
(米国) 5月 耐久財受注(速) / 製造業受注-資本財(速)
(米国) 6月 コンファレンスボード消費者信頼感
(米国) 6月 ダラス連銀サービス業活動
(米国) 6月 リッチモンド連銀製造業指数
(米国) 国債入札(5Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。